

1. 本園の教育目標

キリスト教的人間観に基づき、幼児の個性を尊重し、適当な環境を与えて、心身共に健康で調和の取れた発達を助長する。

2. 26年度、重点的に取り組む目標・計画

自発的に挨拶が出来る子どもを育て、伸び伸びと園庭で遊べる工夫をする。子ども達一人ひとりをしっかり見つめ、その子の持っている力を伸ばせるようそれぞれ発達の課題に即した指導をする。自我が芽生え、他者の存在を意識し、自己を抑制しようとする気持ちが生まれる幼児期の特性を理解し、長期的な視野を持って適切に対応する。

3. 評価目標の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
挨拶	<ul style="list-style-type: none"> 職員ひとりひとりが丁寧な挨拶を心掛け、習慣づくように努めた。担任だけでなく、他の職員にも挨拶が出来るように、指導することで、進んで挨拶しようとする姿がよく見られるようになった。 保護者に対し、担任クラスのみならず、出会ったら笑顔で挨拶し、より良い関係が作れる様にしている。
戸外遊び	<ul style="list-style-type: none"> 必ず戸外遊びを取り入れ、子ども達が元気に遊ぶ楽しさを感じられるよう共に遊び、楽しい環境作りに努めた。 園庭中央にあった桜の木がなくなり、園庭全体の見渡せる場所も多くなった為、子ども達が園庭で遊ぶ様子を十分に観察できるようになった。又、子ども達も戸外で身体を動かし、伸び伸び元気に遊ぶ光景が、多く見られるようになった。 遊びの中で、うんてい、鉄棒、タイヤ跳び、縄跳び等、子ども達が達成感を味わえるよう、指導しながら、子ども達の体力向上に取り組んでいる。
保護者との関わり	<ul style="list-style-type: none"> 本園のホームページを公開したことにより保護者に情報を発信し、園の近況を伝えることが出来た。 保護者と積極的にコミュニケーションをとり、公私混同せず、丁寧な対応を心掛けた。 降園時には、毎日保護者と、子どもの様子を伝え合ったり、話が出来のだが、沢山の保護者が一度に来られると、落ち着かず、なかなかゆっくりとひとりひとりの保護者と関わるのは難しかった。大切な話の時は改めて時間をとり ゆっくりと話が出来るようにしている。
環境整備	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが生き生きと遊べる望ましい環境作りや保育活動に取り組みやすい環境の整備を行っている。古い遊具は、撤去し、新しい遊具を設置した。更に遊具の下にクッション性のあるシートも敷き、安全確保に努めた。戸外遊具等、目に見える部分は、戸外で子ども達と一緒に遊びながら点検してきたが、細かな部分については徹底されなかった。保育室は危

	<p>険がないよう出来る限り、整理整頓を心掛け、広く使えるよう配慮した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くもなどの害虫や猫の糞などを除去し、衛生面からも環境を整え、子ども達が園庭でしっかり体を動かせるように配慮している。
--	--

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<p>取り組むべき課題や改善点について、全教職員が共通に理解し、それぞれ自己評価した事によって本園としての方針を明確にする事が出来たので、去年の反省を活かし今年度も引き続き取り組んでいきたい。</p>
--

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
職員間の連携	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間の報告、連絡、相談を徹底し情報がもれることのないようしっかりと行う。保育内容や園行事の取り組み等、職員間で何でも意見交換をしていける場を工夫し、全職員で問題解決をしていきたい。また、職員会議を大切にし会議の中でしっかりと計画的に話を進め職員の共通理解を得る。
整理整頓	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりが整理整頓を心掛けてはいたが、仕事を優先にしてしまうことで、職員室、保育室の整理整頓が疎かになってしまった。整理整頓により清潔、美化の徹底と充実を図り自然環境や教材、施設等の整備と活用で充実した教育を支える。
登降園のマナー	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度より導入した吊り下げ名札の着用を徹底し、部外者や不審者から園の安全を守り、子ども達が安全に登降園できるようにしていきたい。降園時は自転車でのお迎えが多く、混雑するため、自転車の止め方や速やかに帰宅して頂くことなどのマナーを再確認し、協力を求めている。
遊具点検	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達が安全に遊べるよう、遊具の安全点検に努める。特に、木の遊具等では、とげが刺さる子ども達がいた為、再度けがのないよう、毎日の点検を徹底していきたい。不備や補修が必要な場合は、報告し対応する。

● 27年度、重点的に取り組む目標・計画

<p>子ども達一人ひとりの良いところを見つけて認め、伸ばすことに重点をおき、園での様々な活動に計画的に取り組める様、見通しを持って準備する。職員間の報告、連絡、相談を徹底して行い、教職員の共通理解をはかる。そして保育力向上の為に、自ら知識や技術を習得し保育及び指導内容の幅を広げる。</p>

● 27年度の評価項目

<ul style="list-style-type: none"> ・職員間の連携 ・保育力向上 ・言葉遣い、言葉掛け ・衛生、環境、体調管理
--

● 学校関係者の評価

<ul style="list-style-type: none"> ・日々元気な子どもたちの声と優しい職員の声が聞こえ、子どもたちが安心して居る様子が感じられます。 また、その声によって周りの地域の方々も元気をもらい癒されています。 ・挨拶をするということは、「愛されることを知りそして人を愛することを学ぶ。」という保育方針が見える形にする行動だと思っておりますので引き続き大切に指導されることを望みます。
